

すまい・まちづくりシンポジウム2022

変化を受け入れ、変化をリードする そんなまちが生き残る

～地方自治体との連携、住民主導の街づくり～

趣旨

現在、人口減少・少子高齢化・生活インフラの老朽化・都市の一極集中による空き家問題等、様々な社会構造の変化と環境変化により旧来のまちづくり思想を見直す時期にきていると感じています。

この変化を柔軟に受け入れ、新しい価値をつくっていくことが求められます。地方自治体との連携はもとより地域住民が自主的に街づくりに参画することが未来に繋がるまちづくりであると捉え、これからのすまい・まちづくりを皆様と一緒に考えるシンポジウムをWEBセミナーにて開催いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。



開催日時

2022年12月8日(木) 13:00～15:30
(10分前よりアクセス受付開始)

開催方法

WEBセミナー

お申し込み

定員 500名【参加費無料】 どなたでもご参加いただけます。

こちらからもアクセスできます



以下のURLからお申し込み下さい。

<https://www.purekyo-yoyaku.com/>

申し込み後に「予約完了」メールがご指定のメールアドレスに送信されます。
また、事前に当日の参加方法のご案内メールをお送りいたしますので、
あわせてご確認ください。

申し込み締切：**12月5日(月)**

※申込先着順で定員に達し次第締め切らせていただきます。
※予約完了メールや参加方法のご案内メールが届かない場合は、**迷惑メールフォルダ**に入っている可能性もありますのでご注意ください。

主催
協賛
後援
協力

(一社)プレハブ建築協会
定期借地権推進協議会・日本型HOA推進協議会
(独法)住宅金融支援機構・(一財)住宅生産振興財団・(一財)都市農地活用支援センター
(一社)全日本土地地区画整理士会・(一社)住宅履歴情報蓄積・活用推進協議会
(株)プレイスメイキング研究所・(株)プレイスメイキング横浜

スケジュール

13:00 開会挨拶

一般社団法人 プレハブ建築協会 地域・まちづくり分科会 代表幹事 上田 眞

13:05 基調講演

「これからの郊外住宅について」

～地方自治体との連携から生まれる新たなまちづくり～

株式会社ブルースタジオ クリエイティブディレクター 建築家 大島 芳彦氏



郊外型地域再生は、地域住民が主役になり自分達のまちを活性化するのが理想ではありますが、生活インフラの再構築、高齢者の住居問題、必要な商業施設誘致等、様々な課題が山積しています。この課題を解決する為には、地方自治体と民間事業者の連携が不可欠だと考えます。基調講演では、これらの課題解決を地域住民と取り組んだ活動を大阪府大東市にある『morineki』プロジェクトを通じてご説明します。

13:45 事例紹介・パネルディスカッション

コーディネーター 横浜市立大学 国際教養学部 教授

齊藤 広子氏



【事例紹介】

■静岡県島田市 しまだあさひガーデンプレイス

“豊かな暮らし空間創生住宅地 認定制度”

株式会社プレイスメイキング研究所 代表取締役

温井 達也氏



■福岡県宗像市 日の里再生プロジェクト

“誰かにつくってもらう『まちづくり』ではなく、地域の人達が変化させていく『さとづくり』を”

株式会社エス・コンセプト 代表取締役

馬越 重治氏



■神奈川県横浜市 上郷ネオポリス

“持続できる街を目指して 上郷ネオポリスの挑戦”

大和ハウス工業株式会社 リブネスタウン事業推進部 担当部長 瓜坂 和昭氏



※パネラーとして、基調講演の大島氏にもご参加頂きます。

※ご講演タイトル等は変更の可能性があります。

15:30 閉会

お問い合わせ：（一社）プレハブ建築協会 業務第二部 シンポジウム担当 jyutaku@purekyo.or.jp

※メールの件名を「すまい・まちづくりシンポジウム問合せ」として下さい。

